

事業所名

ほのかのおひさま

児童発達支援 支援プログラム

作成日

2024 年

12 月

1 日

法人（事業所）理念		子どもたちの発達に合わせた育ちを支援する場となる					
支援方針		「出逢えてよかった」の思いを大切に、病気や障がい、医療的ケアの必要な子どもたちが安心して通うことのできる事業所を目指します					
営業時間		9 時	30 分	17 時	30 分	送迎実施の有無	あり なし （要相談）
サービス提供時間		10 時	0 分	14 時	30 分		
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者の健康状態を把握し、さまざまなサインから心身の変化に気が付くことができるよう、きめ細やかな観察を行います。 ご利用者の気持ちを汲み取り、共感する中で、信頼関係を築きます。ご利用者と保護者との信頼関係を基盤とし、ご利用者自身が主体的に過ごせるように支援します。 個々に合わせた、医療的ケアを適切に行います。 食事・排泄・睡眠など、基本的な生活習慣を習得できるように支援します。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 視覚、聴覚、触覚、嗅覚等に働きかけた遊びの中で、保有する感覚を十分に活用し、楽しめる遊びを提供します。 季節の歌や手遊び歌、ダンスなどで身体を動かして楽しく遊ぶことができるよう支援します。 粗大運動と微細運動を組み合わせながら、成長発達につなげます。 日常生活や遊びの中で、姿勢保持や上肢・下肢の運動、筋力の維持等につながるよう支援します。 個々に合わせた安楽な姿勢で、楽しく活動に参加できるようポジショニングを行います。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 一日の流れや生活の流れが意識できるように見通しを持った支援を行います。 好きな玩具に興味を持ち、集中して遊ぶことができるように環境を整えます。 個々に合わせた活動方法の工夫を行い、繰り返し行う中で、ご利用者自身が興味・関心を持って活動に参加することができるよう支援します。 声掛けや視覚支援等で、ご利用者自身が選択し、意思決定を行うことができるよう支援を行います。 					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 目線や表情、発声など、個々に合わせた方法で思いを伝え、伝わった喜びを感じられるようにします。 支援者や友達と一緒に遊ぶ中で、言葉のやりとり等を楽しむことができるよう支援を行います。 言葉を模倣したり、言ってみたくらいで済ませるのではなく、季節の絵本や繰り返しの楽しい言葉のあるお話を取り入れます。 物や様子、状況など、目で見たり、身体で感じたりしたこと言葉に添え、繰り返し伝えることで、言葉と物事が結び付くよう支援します。 					
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな遊びや活動を支援者や友達と経験する中で、楽しい、嬉しい、悔しい、悲しい等の感情を味わうことができるようにします。 支援者や友達に関心を持ち、模倣したり、自ら関わったりすることができるよう支援します。 遊びや活動の中で、順番や簡単なルールを意識することができるよう関わります。 放課後等デイサービスのご利用者や併設の高齢者施設のご利用者との関わりから、いろいろな人の存在を知り、関わったり触れ合ったりする中で、社会性を育みます。 					
家族支援		登園時、降園時に保護者と情報共有 面談や担当者会議等の開催 きょうだい児や保護者の就労におけるニーズへの対応			移行支援		保護者への情報提供 移行先、相談支援専門員との情報共有
地域支援・地域連携		外出や他事業所等との交流を通じた、地域との関わりを持つ機会の提供			職員の質の向上		年間計画に基づいた、社内、社外の各種研修への参加 職員主催の勉強会の開催 人事考課制度による定期的な評価
主な行事等		季節の行事（制作活動や簡単なルールのある遊びやゲーム）、水遊び、感覚遊び、音楽遊び、運動遊び、クッキング、外出、散歩、放課後等デイサービスのご利用者や併設の高齢者施設との交流、誕生会、卒園式、茶話会など					